

平成29年度 国語 (50分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 この問題冊子は25ページである。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
 - ・①氏名欄
氏名を記入すること。
 - ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄
受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。
- 4 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 欄				
10	①	②	③	④	⑤

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

1 次の問1～問5に答えよ。

問1 傍線部の漢字の正しい読みを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 1。

彼は皆から一目置かれて^レいる。

- ① ひとめ
- ② いちめ
- ③ いつめ
- ④ いちもく
- ⑤ ひとつもく

問2 (ア)、(イ)の傍線部に当たる漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は 2・3。

(ア) 名画を^レカンシヨウする。

2

- ① ^レカンカクをあけて配置する。
- ② 映画の^レカントクになりたい。
- ③ 書類に^レインカンを押す。
- ④ 最後の場面は^レアツカンだった。
- ⑤ 公園の^レカンリ事務所へ行く。

(イ) エプロンの型紙に合わせて布をタ¹つ。

3

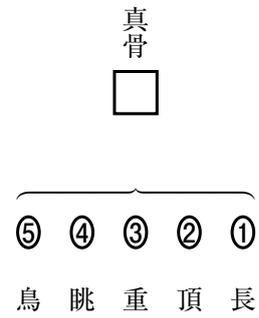
- ⑤ けんかのチュウサイ¹をする。
- ④ リツタイテキナ¹図形を描く。
- ③ 観葉植物のサイバイ¹をする。
- ② ビルをケンセツ¹する。
- ① 会社をケイエイ¹する。

問3 「遠近」と同じ構成で成り立っている熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

4

- ⑤ 読書
- ④ 着席
- ③ 日照
- ② 流水
- ① 難易

問4 次の空欄に一字を補うと、「物や人のもつ本当の価値や能力」という意味の熟語になる。空欄にあてはまる漢字を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。



問5 「臨機応変」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 何かをきっかけに、気持ちが良い方向に切り替わること。
- ② 前世や過去の行いの善悪に応じて、必ずその報いがあること。
- ③ その場その時の状況に合わせて、物事に適切に対処すること。
- ④ あることが原因となって、同様の出来事が次々と起こること。
- ⑤ わずかな違いで、きわめて危険な状態から脱すること。

西高校の生徒会室では、全校生徒から募集した『学校祭のテーマの最終候補』(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)のうち、どれを採用するかについて、五人の生徒会役員が話し合っていた。『学校祭のテーマの最終候補』と『生徒会役員の話合いの一部』を読んで、問1、問2に答えよ。

【学校祭のテーマの最終候補】

Ⅰ

光る汗 輝く青春 西高祭

Ⅱ

その日、西高は
研究展示と模擬店の
パラダイスになる

Ⅲ

研究展示とおいしい模擬店が
あなたをお待ちしています
～西高祭～

【生徒会役員の話合いの一部】

高橋さん 「まずは、この三つの最終候補についての考えを、それぞれ話してみよう。」

長野さん 「私は A から、ⅡかⅢがいいと思う。」

久保さん 「テーマなので、表現にも気を配るべきじゃないかな。私は、Ⅰは B 。

加藤さん 「なるほど。表現というところで考えれば、Ⅱの『パラダイス』もいいと思う。こういう表現があると、C 。

高橋さん 「僕はⅢの、『あなたをお待ちしています』という表現が、D 。

山崎さん 「そもそもテーマでは、西高祭の見所を簡潔にうまく伝えることと、どちらに重点を置くべきだろうか。私は、西高祭の見所を簡潔にうまく伝えることにあるんじゃないかと思うけれど。」

加藤さん 「そうだね。同感。」

高橋さん 「それなら、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのテーマを比べると、長野さんが言っていたように、ⅡやⅢがよさそうということになるね。では、この二つを、今度は表現の点で比べてみよう。ⅡとⅢを比べると、どちらの表現がいいだろうか。」

加藤さん 「僕はさっきも言ったように、Ⅱだな。」

高橋さん 「僕は、やっぱりⅢだね。」

山崎さん 「それでは、ⅡとⅢのよいところを取り入れたテーマを、もう一度考えてみようか。」

加藤さん 「あ、それいいね。僕、頑張るよ。」

長野さん 「でも、ⅡとⅢの両方のよいところを取り入れるって難しそうじゃないかな。」

久保さん 「私も難しいと思う。」

加藤さん 「大丈夫。みんなで一緒に考えよう。最終的にテーマを作ることには僕たち生徒会に任されているんだから、最後は僕たちがこの三つの候補をもとにして頑張って作らなきゃね。」

長野さん 「それもそうだね。どうせなら、いいテーマを作りたいよね。よし、頑張るか。」

高橋さん 「じゃあ、それぞれ案を持ち寄って、来週にもう一度話し合おう。」

問1 空欄

A

D

に入る内容の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

7

。

ア リズムがあつていいと思う

イ 読み手に呼びかける感じがしていいと思う

ウ 高校生らしく、元気な感じがしていいと思う

エ 面白そうな催しがたくさんあるように思う

オ 西高祭で見てほしいところが、はっきりと伝わると思う

①

A

B

C

D

②

A

B

C

D

③

A

B

C

D

④

A

B

C

D

⑤

A

B

C

D

問2 この話合いの参加者が果たしていた役割について説明したものと最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

8。

- ① 高橋さんは、話合いの流れを取りまとめる役割、久保さんは、それた話合いを修正する役割を果たしていた。
- ② 長野さんは、新しい事例を出して話合いの流れを変える役割、山崎さんは、話合いに有効な視点やアイデアを出す役割を果たしていた。
- ③ 久保さんは、それた話合いを修正する役割、加藤さんは、前向きな意見を出す役割を果たしていた。
- ④ 加藤さんは、前向きな意見を出す役割、長野さんは、新しい事例を出して話合いの流れを変える役割を果たしていた。
- ⑤ 山崎さんは、話合いに有効な視点やアイデアを出す役割、高橋さんは、話合いの流れを取りまとめる役割を果たしていた。

木元さんが通う東高校では、九月十日に文化発表会が一般公開されることになっている。左上段の【案内文】は、東高校が文化発表会の一般公開を知らせるため、保護者に向けて出した通知である。また、左下段の【メール文】は、木元さんが【案内文】を参考にしながら、この春に東高校を卒業した演劇部の先輩に向けて、文化発表会の一般公開を知らせるために出したメールの文面である。これらを読んで、問1、問2に答えよ。

【案内文】

平成29年7月21日

保護者の皆様

東高等学校長 山下 太郎

東高等学校生徒会長 田中 花子

文化発表会のお知らせ

保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に御協力くださり、ありがとうございます。

さて、本校では9月9日・10日に文化発表会を実施いたします。このうち、9月10日については一般公開といたします。公開時間は9時から16時です。1年生による合唱、2年生による伝統芸能発表、3年生による研究展示のほか、部活動や委員会による展示・発表などが行われます。

御多忙の折とは存じますが、ぜひ御来校いただき、お子様の学校での活動の様子を御覧ください。

なお、当日は駐車場の混雑が予想されますので、できる限り公共交通機関を利用して御来校くださいますよう、よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

東高等学校

担当 鈴木、大西

TEL ○○○-123-4567

FAX ○○○-890-1234

【メール文】

先輩、お久しぶりです。お元気ですか？

大学生活はAどうですか？

今年の文化発表会の一般公開は9月10日です。公開時間は9時～16時です。

演劇部は今年も創作劇を発表します。今年の脚本は、あの山野井君が書きました。1年前から書いていた脚本が、Bとうとう完成しました。そして、先輩にいつも演技指導をしてもらっていた川崎さんが、なんと今回は主役で登場します。

演劇部の発表は、いつものCとうり、講堂で11時スタートです。本番で成功するかDどうかは分からないのですが、ちょっとした秘密の演出もする予定です。先輩に見に来てもらえると嬉しいです。部員一同、先輩に会えることを楽しみにしています。

なお、当日は車の混雑が予想されるので、できる限り公共交通機関で来てください。

Eどうぞよろしくお願いいたします。

問1 【案内文】と【メール文】について、それぞれの内容や表現の特徴を説明したものととして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 9。

- ① 【案内文】は、保護者に向けたものであるため、前置きを省き、用件のみを伝える文章となっているが、【メール文】は、先輩に向けたものであるため、前置きを付した、丁寧な文章となっている。
- ② 【案内文】は、読み手が保護者であるため、一般公開の概要を中心に書かれているが、【メール文】は、読み手が部活動の先輩であるため、演劇の話題を中心に書かれている。【案内文】と【メール文】のどちらも、読み手に一番伝えたい内容を中心に書いている点では共通している。
- ③ 【案内文】は、校長と生徒会長が連名で出しているため、漢語が多く、書き手の個性の感じられない文章となっているが、【メール文】は、木元さん個人が出したものであるため、外来語が多く、個性的な文章となっている。
- ④ 【案内文】は、敬体を用いて保護者への敬意を表しているが、【メール文】は、常体を用いて先輩への親しみを表している。【案内文】と【メール文】のどちらも、書き言葉を用いている点では共通している。
- ⑤ 【案内文】は、読み手が保護者であるため、大切な情報は一度ずつしか書かれていないが、【メール文】は、読み手が高校を卒業したばかりの先輩であるため、大切な情報が繰り返して書かれている。

問2 傍線部A～Eにおいて、表記が適当でないものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

- ① A
② B
③ C
④ D
⑤ E

次の会話は、さくら商事の佐藤さんが取引先の社員の田中さんと電話でやりとりをしたときの会話の一部である。なお、会話中に出てくる「山岸部長」は田中さんの上司である。これを読んで、問1、問2に答えよ。

佐藤さん 「いつもお世話になっております。さくら商事の佐藤です。山岸部長はいらっしゃいますか。」
 田中さん 「大変申し訳ありません。ただいま外出していらっしゃいます。」
 佐藤さん 「そうですか。それでは、伝言をお願いしますか。」
 田中さん 「はい。」

問1 傍線部A いらっしゃいますか、B 外出していらっしゃいます。 について説明したものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選べ。解答番号は 11。

- ① Aでは、佐藤さんが山岸部長に対して尊敬語を用いており、使い方は適切である。Bでは、田中さんが山岸部長に対して尊敬語を用いており、「外出されています」と言うのが適切である。
- ② Aでは、佐藤さんが山岸部長に対して尊敬語を用いており、使い方は適切である。Bでは、田中さんが山岸部長に対して尊敬語を用いており、「外出しております」と言うのが適切である。
- ③ Aでは、佐藤さんが山岸部長に対して謙讓語を用いており、使い方は適切である。Bでは、田中さんが山岸部長に対して謙讓語を用いており、使い方は適切である。
- ④ Aでは、佐藤さんが山岸部長に対して謙讓語を用いており、使い方は適切である。Bでは、田中さんが山岸部長に対して謙讓語を用いており、「外出しております」と言うのが適切である。
- ⑤ Aでは、佐藤さんが山岸部長に対して尊敬語を用いており、使い方は適切である。Bでは、田中さんが山岸部長に対して謙讓語を用いており、使い方は適切である。

問2 空欄

C

に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

12

。

- ① 聞きます
- ② 聞かれます
- ③ お聞きになります
- ④ 承ります
- ⑤ お承りになります

次の文章を読んで、問1～問6に答えよ。

ものをつくる姿勢には、二つの道があると思う。

一つは、自分の思いを主体にして、つくりたいものをつくる生き方。自分の価値観、自分の信念にしたがって、自分自身が満足していくものを追求める。人が理解できないものを生み出すこともあるし、一つの作品を仕上げるまでに、果てしなく長い時間を費やすこともある。必然的に、採算や生産性といったことは度外視することになる。

芸術家とは、この道を往く人だ。

もう一つの在り方は、自分を社会の一員として位置付けてものづくりをしていく在り方。需要と供給を意識し、今自分は何を求められているかを見据えた中に身を置く。自ずと商業ベースで考えることになる。世の中の大多数の職業というものは、こちらだといっていいだろう。

僕の音楽家としての現在のスタンスは、後者である。だからといって作曲をビジネスライクに考えているわけではない。もちろん創造性ということが一番大切にしている。

芸術家になるのは難しいことではない。内容を別にすれば、世間的には自分が決めればいいだけのことだ。誰からも認めなくても、己さえ納得していればいいのだから話は早い。「私は芸術家です」と規定したら、その瞬間からその人は芸術家である。極端な話、まだ何一つ作品をつくっていません。

一方、商業ベースでもものをつくっていくには、自分がどんなに「その道の専門家です」「プロとしての自信があります」といったところで、仕事を発注してもらい、力量を認めてもらえなければ成り立たない。「こいつ、面白いな。やらせてみよう」とか「なかなかできるぞ、よし、任せてみるか」と思ってもらい、実際に引き受けた仕事で成果を見せなければならぬ。それがいい仕事であるかどうかの評価を下すのは決して自分自身ではなく、発注主であり、世の中の需要である。多くの人の気持ちを引き寄せることを目指してつくるわけではないが、絶えずそれを意識していかなければならない。つねに創造性と需要の狭間で揺れながら、どれだけクリエイティブなものができるかに心を砕く。

どちらも、いいものをつくりたいという気持ちは同じだ。要は、何に価値と意義を感じて生きるかの違いだと思う。^A

僕自身、若いころに芸術として音楽をやっていた時期があった。

大学時代から三十歳になるころまで、現代音楽に傾倒していた僕は、一般の人の理解を得られにくい路線を突き進んでいた。現代音楽というジャンルの中で最もこれが自分の道と思ったのは、前衛芸術だった。例えば、ジョン・ケージの(注1)「4分33秒」と呼ばれている作品は、

ステージに登場してピアノの前に座り、何も弾かずに帰ってくる、というもの。あるいは、^(注2)グロボカールには、ステージで椅子を放り投げるという^(注3)チャンスオペレーションの作品もあった。音楽の可能性を追求して、そういう実験的な試みがたくさん行われている世界だった。

僕がやっていたのは「ミニマル・ミュージック」といって、短いフレーズやリズムをわずかに変化させながら繰り返していく音楽だ。そこにはクラシック音楽が失ってしまったリズムがあり、魅力的な調性のあるハーモニーもあった。初めて聴いたとき、身体の中を電流が走るくらい衝撃を受け、僕は一気にのめり込んでいった。

だが、音楽大学を出て十年ほど続けているうちに閉塞感を覚え、自分が音楽をやる意味をあらためて考えるようになった。なぜなら、前衛芸術として自分の音楽的実験を正当化するためにどう音楽的に理論証明をするか、他の人の論理を言葉でどう言い負かすか、ということが日常になってしまったからだ。それは僕にとって、もう音楽とはいえなかった。

どうも僕は、器用に立ち回ってあれもこれもうまくやるといえることができる性質^{たち}ではない。^B針が振れるときは、極端なくらいに大きく振れる。このときもそうだった。芸術として音楽をやる道を捨て、これからはできるだけ多くの人に聴いてもらう幅の広い音楽をやろう、^C街中の音楽家^々になろう、と決意する。若くて今よりもっと一途^{いちず}だったから、並行的にミニマルの作品も書けばいい、などと考えられなかった。

そして、来たものはすべてやる心意気で作曲活動をしていたところに、『風の谷のナウシカ』(宮崎駿監督 一九八四年)のオフアアが来た。いったん、ミニマル・ミュージックを追求する芸術家としての方向性を閉ざしたが、映画音楽のジャンルで自分のミニマル・ミュージックのセンスを形を変えて活か^いすことができた。あのまま芸術一筋で突っ走っていたら、今日のようなスタイルではないだろう。

「作曲家として最も^(注4)プライオリティを置いていることは何ですか？」と問われたら、僕は迷わず、「とにかく曲を書きつづけること」と答える。

今、僕をやっている音楽はエンターテイメントの世界だ。ジャンルでいえばポップスに属する。では、売ればいいのか、目的はヒットする曲を書くことか。それもまるつきりないとはいわない。が、売れることだけに価値を置いていたのでは、志としていささか^{かな}哀しい。

僕の根本的な考えは、より完成度の高い^い良い音楽^々を書くことだ。結果、人に喜んでももらえれば、この上なく^{うれ}嬉しい。

もし僕が、純粹に自分の書きたいものを書くことを目標に掲げるなら、職業として作曲をしないで、学校の音楽の先生をしながら、一年、二年かけてシンフォニー(交響曲)を一曲書き上げる、といった暮らしをするだろう。

II

ものをつくることを職業としていくには、一つや二ついいものができるだけではダメだ。生涯に一作であれば、誰でもいい曲がつけられる。小説だって書けるし、映画だって撮れる。必要最低限のスキルを身につけて本気で取り組めば、どんな人でも立派な作品を生み出すことができる。だが、仕事は^点ではなく^線だ。集中して物事を考え、創作する作業を、次へまた次へとコンスタントに続けられるかどうか。それができるから、作曲家で

す、小説家です、映画監督ですと名乗って生きていける。

優れたプロとは、継続して自分の表現をしていける人のことである。

III

さらにいえば、プロとして一流か二流かの差も、力量を維持継続していけるか否かにかかっている。

例えば、二流といわれるオーケストラがあるでしょう。そこに非常に手腕ある指揮者がやってきて、全員の気持ちを掌握して猛練習を積んだら、

トップクラスのオーケストラにも勝てる。集団が結束して力を一点に向けると、予期せぬ大きな力が出る。大絶賛を浴びる素晴らしい演奏ができた。

D
だからといって彼らが二流を脱却して一流になれたわけではない。問題は、一年を通じていつでもそれだけの力が出せるかだ。指揮者が他の人に変
わったらできない、つねに同じだけの集中力を保つことができない、となると、やはり二流止まりである。

IV

レストランでも寿司屋でもラーメン屋でも、つねに安定したいいい味が提供できる店は本物だ。あるときは非常に美味しかったが、次に行ったらそう
でもなかった、という店は、やがて消えていく。

V

一流とは、ハイレベルの力を毎回発揮できることだ。

(久石譲『感動をつくれますか?』による。)

(注1) ジョン・ケージ——アメリカの作曲家。

(注2) グロボカール——フランスの作曲家。

(注3) チャンスオペレーション——偶然性音楽を実現するための方法の一つ。

(注4) プライオリティ——優先順位。

問1 傍線部A 何に価値と意義を感じて生きるか とあるが、筆者の考える芸術家の生き方の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

- ① 時代の流行に合うもの、自分の言葉で説明することができるものをつくらうとする生き方。
- ② 自分が簡単につくることができるもの、誰もが手に入れやすいものをつくらうとする生き方。
- ③ 一般の人が理解してくれるもの、世間から高い評価を得られるものをつくらうとする生き方。
- ④ 特定の顧客に認められるもの、供給を少なくしても採算が合うものをつくらうとする生き方。
- ⑤ 自分が納得できるもの、自分が満足できる創造性に富んだものをつくらうとする生き方。

問2 傍線部B 針が振れるときは、極端なくらいに大きく振れる。このときもそうだった。 とあるが、このとき筆者の「針」が「大きく振れる」きっかけとなったこととして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① 芸術の道を捨てようとした中で、多くの人に自分の音楽を聴いてもらい、大きな使命感を持ったこと。
- ② 人から認められない中で、初めて他人からほめられて、音楽をつくるよるこびに目覚めたこと。
- ③ 前衛芸術を続けていくにつれて、自分の才能のなさに気づき、創作活動を見直すようになったこと。
- ④ 音楽の可能性を追求し、自己の音楽を正当化する理論ばかりを考える日々疑問を持ったこと。
- ⑤ 前衛芸術を志向する中で、音楽の実験的な試みの一つに出会い、没頭していったこと。

問3 傍線部C「街中の音楽家」になろう、と決意する とあるが、それはどういうことか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 人々が何を求めているかを意識して、作曲をしようと決心すること。
- ② 自分自身の信念を何よりも優先して、作曲をしようと決心すること。
- ③ 職業としてではなく個人の趣味として、作曲をしようと決心すること。
- ④ 音楽的実験を街頭演奏で試みながら、作曲をしようと決心すること。
- ⑤ 創造性ではなく需要だけを優先させて、作曲をしようと決心すること。

問4 本文中には、「自分のつくりたいものだけをつくるには、職業にしないほうがいい。」という一文が抜けている。空欄 I ～ V のどこにあてはまるか、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ⑤ V
- ④ IV
- ③ III
- ② II
- ① I

問5 傍線部D だからといって彼らが二流を脱却して一流になれたわけではない。とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- ① 一流とはすぐれた指導者の手腕によって実現されることであり、どんなに個々の構成員の力が優秀であったとしても、指導者に構成員を束ねる力がないのであれば、一流とは言えないから。
- ② 一流とは猛練習を積まなくても力を発揮できることであり、本番で大絶賛されたとしても、それが多くの時間を費やした練習の成果によるものであれば、一流とは言えないから。
- ③ 一流とはいつでもハイレベルな力を発揮できることであり、今日素晴らしい力を発揮できたとしても、それが一過性の外的要因によってもたらされたものであれば、一流とは言えないから。
- ④ 一流とは常に単独で力を発揮できることであり、多くの人から賞賛を受けたとしても、集団として結束しないとその力を発揮できないのであれば、一流とは言えないから。
- ⑤ 一流とは常に先の見通しを立てて行動できることであり、大きな力を発揮できたとしても、それが予期せぬ結果であったのであれば、一流とは言えないから。

問6 この文章の表現の特徴に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

18

。

- ① 「例えば、ジョン・ケージの〈4分33秒〉と呼ばれている作品は、「や」例えば、二流といわれるオーケストラがあるでしょう。」のように、具体例を挙げることによって、現代音楽の直面している課題を読者にわかりやすく示している。
- ② 「こいつ、面白いな。やらせてみよう」や「作曲家として最もプライオリティを置いていることは何ですか？」のように、会話表現を入れることによって親しみやすくなっており、前衛芸術に批判的な人々の興味を引きつけやすくしている。
- ③ 「『私は芸術家です』と規定したら、その瞬間からその人は芸術家である。」や「僕の根本的な考えは、より完成度の高い、良い音楽を書くことだ。」のように、断定的な表現が多く用いられているため、主張が明確に伝わるようになっていく。
- ④ 「僕自身、若いころに芸術として音楽をやっていた時期があった。」や「今、僕のやっている音楽はエンターテインメントの世界だ。」のように、自分が成功した事例を挙げて自らが一流であることを強調することによって、主張の説得力を高めている。
- ⑤ 「それは僕にとって、もう音楽とはいえなかった。」や「あるときは非常に美味しかったが、次に行ったらそうでもなかった、という店は、やがて消えていく。」のように、否定的な表現が多く、成功することの難しさを強調している。

山川さんのクラスでは、国語総合の授業で次のⅠ・Ⅱの文章を取り上げ、古典に描かれた世界と現代とのつながりについて考える学習を行うことになった。これらを読んで、問1～問6に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)なお、Ⅱの文章の漢詩の部分については【現代語訳】を示した。

Ⅰ

醍醐天皇の御代に日照りが続き、多くの高僧に祈祷させたが、効き目はなく、ますます晴れわたるばかりであった。天皇を始め、大臣から庶民に至るまで人々はひどく嘆いた。そこで、醍醐天皇は、僧静観に雨乞いの祈祷をするように命じた。

熱日のしばしもえさし出でぬに、涙を流し、黒煙を立てて祈請し給ひければ、香炉の煙空へ上りて、扇ばかりの黒雲になる。上達部は、南殿に並び

る、殿上人は、弓場殿に立ちて見るに、上達部の御前は、美福門より覗く。かくのごとく見るほどに、その雲むらなく大空にひき塞ぎて、竜神震動し、電光大千界に満ち、車軸のごとくなる雨降りて、天下たちまちに潤ひ、五穀豊饒にして、万木果を結ぶ。見聞の人、帰服せずといふことなし。

(『宇治拾遺物語』による。)

Ⅱ

子英者、舒郷人也。善入水捕魚。得赤鯉、愛其色好、持帰、著池中。数以米

穀食之。一年、長丈余、遂生角、有翅翼。子英怪異、拜謝之。魚言、「我来迎汝。」

汝上背。与汝俱昇天、即大雨。」子英上其魚背、騰昇而去。歳歳来、帰故舎、食

飲見妻子。魚復来迎之。如此七十年。故吳中門戸、皆作神魚、遂立子英祠。

子英 樂水

游捕 為 E

【現代語訳】

靈鱗 来赴

有 焯 厥 色

養之 長之

挺 角 傅 翼

遂 駕 雲 螭

超 步 太 極

子英は水を楽しんで、水におよいで魚を捕って暮らしを立てた。不思議な魚があらわれて、その魚は燃えるような赤い色だ。それを大事に育てていると、角もはえでて、翼もつけた。ついに雲の中を雨竜に乗って、宇宙のはてまでとびめぐった。

（『列仙伝』による。）

（注1） 香炉の煙——ここでは、祈祷のための木札を燃やした煙。

（注2） 上達部——高位の貴族。後の「殿上人」は、それに次ぐ地位の貴族。

（注3） 南殿——天皇が公務を行う殿舎。後の「弓場殿」「美福門」は大内裏（皇居や諸官庁があった区域）の内の建造物。

（注4） 御前——馬に乗って貴族を先導する人。

（注5） 舒——地名。

（注6） 丈——一丈は約二・二五メートル。

（注7） 呉中——地名。

問1 傍線部A 熱日のしばしもえさし出でぬに、涙を流し、黒煙を立てて祈請し給ひけれ とは、誰のどのような様子を表したもののか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

- ① 僧静観が天皇や上級貴族たちが見ているとも知らずに、日が陰ったので喜んで泣いている様子。
- ② 僧静観が天皇や上級貴族たちの期待に応えようとするが、どうしてよいかわからずに悲しんでいる様子。
- ③ 僧静観が天皇や上級貴族たちが期待を込めて見守る中で、酷暑にもかかわらず必死に祈っている様子。
- ④ 天皇や上級貴族たちが日差しが少し陰ってきたのを好機と見て、僧静観とともに祈っている様子。
- ⑤ 天皇や上級貴族たちがその場から逃げ出さないで祈祷に熱中する僧静観の姿を見て、同情している様子。

問2 傍線部B 車軸のごとくなる とは、雨のどのような様子を表したもののか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① 雨足が弱く、しとしとと降る様子。
- ② 雨足が強く、とても激しく降る様子。
- ③ 晴れていたのに、急に降り出す様子。
- ④ いつまでも降り続いて、やみそうにない様子。
- ⑤ 不安定な天気で、降ったりやんだりする様子。

問3 傍線部C 食^レの意味を調べるために漢和辞典を引いて、生徒がまとめたものの一部である。次のような記載があった。空欄

a

b

に入るものの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。(設問の都合で送り仮名を省いた箇所がある。)解答番号は

21

①	(意味) くう。たべる。	(用例) 弗 ^{ズレバ} 食 ^{ラハ} 不 ^{ズル} 知 ^ラ 其 ^{ソノ} 旨 ^{ウマキヲ} 也。
②	(意味) めし。たべもの。	(用例) 食 ^{レバ} 不 ^レ 飽 ^カ 力 ^カ 不 ^ズ 足 ^ラ 。
③	(意味) かける(欠)。	(用例) a
④	(意味) b	(用例) 食 ^レ 子 ^ヲ 謂 ^{イフ} 乳 ^ニ 養 ^{スルヲ} 之 ^ヲ 也。

- ① a 月 盈^{ミツレバ} 則^{すなはち} 食^シ b やしなう
- ② a 発^{シテ} 憤^{リヲ} 忘^ル 食^シ b やしなう
- ③ a 吾^{われ} 嘗^{かつテ} 終^ル 日 不^レ 食^シ b やしなう
- ④ a 我^ガ 食^ニ 吾^ガ 言^ヲ 背^ク 天^ニ 地^ニ 也 b いつわる
- ⑤ a 虎 求^{メテ} 百 獸^ヲ 而 食^レ 之^ヲ b いつわる

問4 傍線部D 皆作神魚、遂立子英祠とあるが、人々がこうしたのはなぜか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

- ① 長年にわたって雨を降らせ、人々に作物の豊かな実りをもたらしてくれたことをたたえるため。
- ② 神魚の怒りを鎮めて、地上と天上を行き来する子英が無事に帰って来られるように祈るため。
- ③ 豊かな実りをもたらす雨は天の恵みであり、人間の力が及ばないことがあると戒めるため。
- ④ 神魚となって恵みの雨をもたらし、優れた詩才まで発揮した子英の功績を伝えるため。
- ⑤ 子英が長生きしたことを敬い、それにあやかって幸運を招き入りたいと願うため。

問5

空欄

E

に入る漢字として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

23。

- ① 人
- ② 魚
- ③ 色
- ④ 職
- ⑤ 神

問6 山川さんのクラスでは、I・IIの文章を読み深めた後で、次の【資料i】、【資料ii】を加えて、話し合いをした。これらの資料と後の【話し合いの様子の一部】とを読んで、(1)・(2)に答えよ。

【資料i】



(注) 『和名抄』——平安時代中期の漢和辞典。

(高谷重夫『雨の神—信仰と伝説—』による。)

【資料ii】

過去の渇水から、利水者は利水調整の経験を学び、それにもとづいて渇水対応策、節水意識の高揚、節水方法の普及等を行っている。この努力が、利水者間における信頼関係をさらに深め、渇水調整を可能にしていくと考えられている。

そもそも日本の社会共通理念は、経済的強者が水を利用する権利を得るというのではなく、共に水不足の苦勞を分かち合おうというものがある。

その背景には、渇水といっても絶対的に水がないというのではなく、「いつか分からないが、やがて台風が来れば雨が降る」というモンスーン地域ならではの気候条件もあるかもしれない。そのため、日照りが続くと水田農業地域は雨乞いという降雨を神に頼む行事も発達した。

谷山重孝 社団法人家の光協会『水が握る日本の食と農の未来』による。

【話し合いの様子の一部】

山川さん 「Iの文章や【資料i】から、昔から竜と雨が深い関係にあるということが読み取れるわ。」
大石さん 「僕もそう思うよ。日本でも中国でも同じように雨乞いの話があるのを読んだことがあるよ。」
福田さん 「どうして東アジアの国々には同じような話があるのかな。」

大石さん 「これらの資料から考えると、僕は、

からだと思うけれど。」

山川さん 「日本人はIの文章に書かれた時代から現代まで、水に対して共通する考え方を持っていることが分かるね。」

(1) 空欄

に入る言葉として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

24。

- ① 中国の竜という漢字が日本ではタツの意味として用いられたように、日本は治水の技術も同じような気候の中国から多く学んできた
- ② 日本固有のタツという語が中国に移入されて竜という漢字の意味に加えられ、両国ともに雨を降らす霊力を持つものとして尊ばれた
- ③ 温帯モンスーン気候の東アジアで農耕生活をする人々が、信仰に力を注ぐよりも必ず降ってくる雨を待つほうが合理的だと考えた
- ④ 東アジアという雨が減多に降らない地域では、希少な水に棲息するすべての生き物には共通に雨を降らす能力があると見なしていた
- ⑤ 温帯モンスーン気候の東アジアに暮らす人々にとって、生活に必要な雨はいつかは必ず降るものだという経験が雨乞いに結びついた

(2)

波線部 共通する考え方

とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

25。

- ① 日本人は竜を雨の神として崇めることによつて天候に左右されやすい水を確保しようと努めてきた。
- ② 日本人は水を共有の資源だと考えて、身分や立場に関係なく水不足の苦勞を分かち合おうとしてきた。
- ③ 日本人は水を巡る利権争いにより権力者が水を支配してきたという反省に立つて治水や節水の対策をしてきた。
- ④ 日本人は水を利用する人たちの信頼関係を深めていくために、雨乞いなどの伝統的行事を普及させてきた。
- ⑤ 日本人は水を公共性の高い資源として考えて、権力者が管理し分配するものだと考えてきた。

